

SANUS®

VMPL3壁掛金具 取扱説明書

----- 重量 127kg 以下のテレビの取り付けに適用 -----

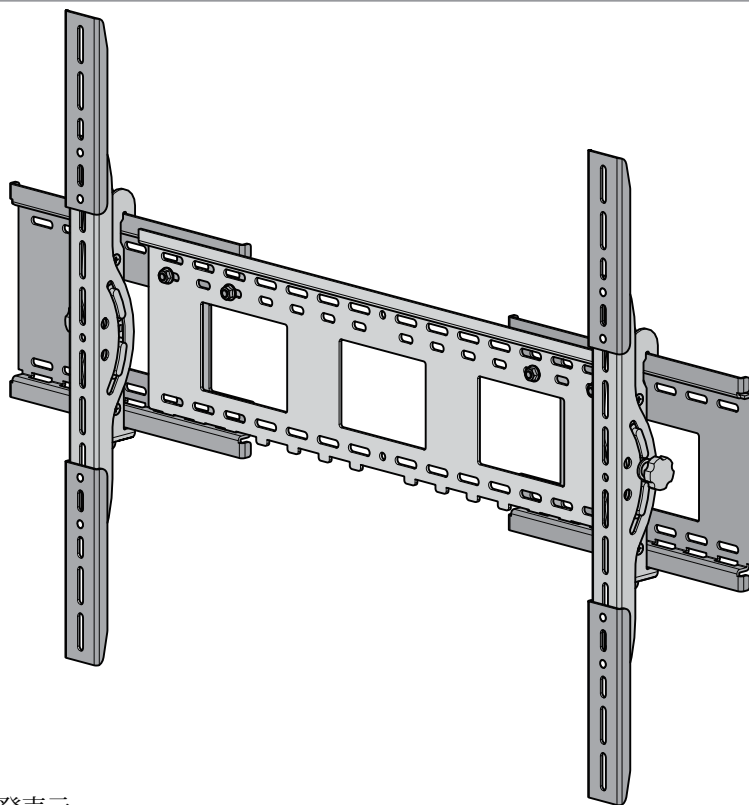
この度は、VMPL3の壁掛金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
VMPL3は27V型～110V型テレビの取付用壁掛金具です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

本製品をご利用になるお客様へ

本製品の取り付けには、特別な技術や確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

薄型テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

ネットワークジャパン株式会社

〒557-0045 大阪市西成区玉出西2丁目16-3
TEL 06-6105-0707 / FAX 06-6105-0708
<https://www.network-jpn.com/> E-mail: info@network-jpn.com

(1) お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



禁止

壁の強度は少なくともテレビと壁掛金具を合わせた重量の5倍の重量に耐える強度が必要です。VMPL3 壁掛金具は、27V 型～110V 型で、総重量 127kg 以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。

これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。

又、木製やコンクリート以外の(鉄骨製などの)壁面には取り付け出来ません。

この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。

専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。

強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。

強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。

又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。

ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。

指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。

テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。

又、壁掛金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。

足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン(株)に連絡して下さい。

尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



壁掛金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ネットワークジャパン(株)は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

重要 本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。又この説明書は、大切に保管して下さい。

必要な工具類



下地センサー

水準器

メジャー

13mm
ボックスレンチ

木材用5.5mm
ドリルビット

コンクリート用10mm
ドリルビット

仕様

耐荷重 : 127kg (テレビと付属品を含みます)

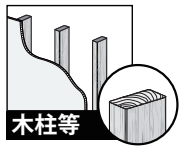
適応テレビサイズ : 27V型～110V型

ティルト調整 : +6° -12° (ティルト用TVブラケット使用時)

※左記を超過しないようにして下さい。

取付可能な壁面

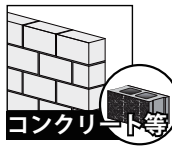
※下記は一例です。実際の施工に関しては専門の工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。



木柱等

★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅40mm 奥行き90mm以上が必要です。

★ しっかりとした柱に固定された、厚さ20mm以上の構造合板など



コンクリート等

★ コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、200mm 必要です。

★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、200 X 200 X 400mm 必要です。

(空洞や隙間のあるブロックには使用できません。)

注意 : ケガをしたり、壁面を破損しないように次の点に注意して下さい。

- ★ 用途以外の目的で本製品を使用しないでください。
- ★ ご利用の壁面は、テレビと壁掛金具の総重量の5倍を支えられなければなりません。
- ★ 本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。
- ★ ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立てや仕様、その他ご質問がある場合は、ネットワークジャパン (株) 又は認定業者にお問い合わせください。
- ★ 付属の部品はすべて使用する必要はありません。ご利用の環境に合わせて必要な部品をお選びください。また、ご利用の環境によっては別途、お客様において部品をご用意いただく必要があります。

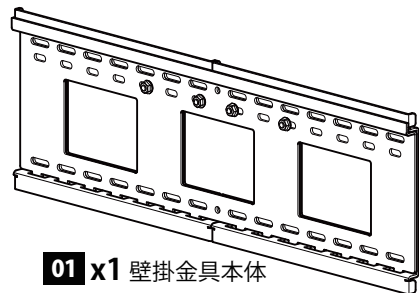
部品表 1



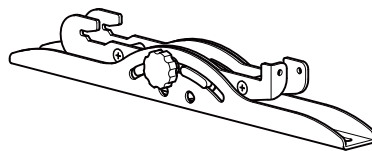
警告 : 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン (株) までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

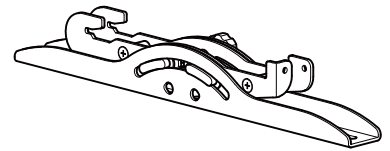
※ M4、M5、M6、又はM8は直径を指し、mmは「M# X ##mm」の表記において、ネジの長さを指します。付属の部品を組み合わせて使用します。(お客様の環境により不要な部品も含まれます)



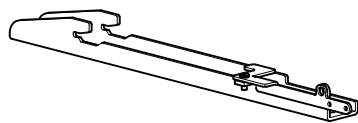
01 x1 壁掛金具本体



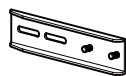
02 x1 ティルト用TVブラケット (左)



03 x1 ティルト用TVブラケット (右)



04 x2 薄型取付用TVブラケット



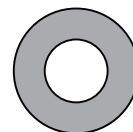
05 x4
TVブラケット
延長金具



06 x2
固定ラッチ
延長金具



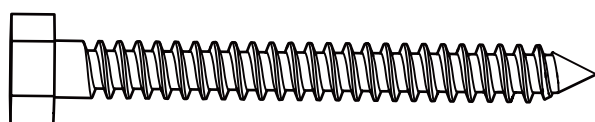
07 x4
10-32 x 1/4インチ
用固定ネジ



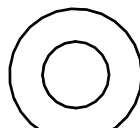
08 x8
延長金具用
ナイロン
ワッシャー



09 x8
延長金具用
フランジナット



10 x6 5/6 x 2 3/4インチラグボルト

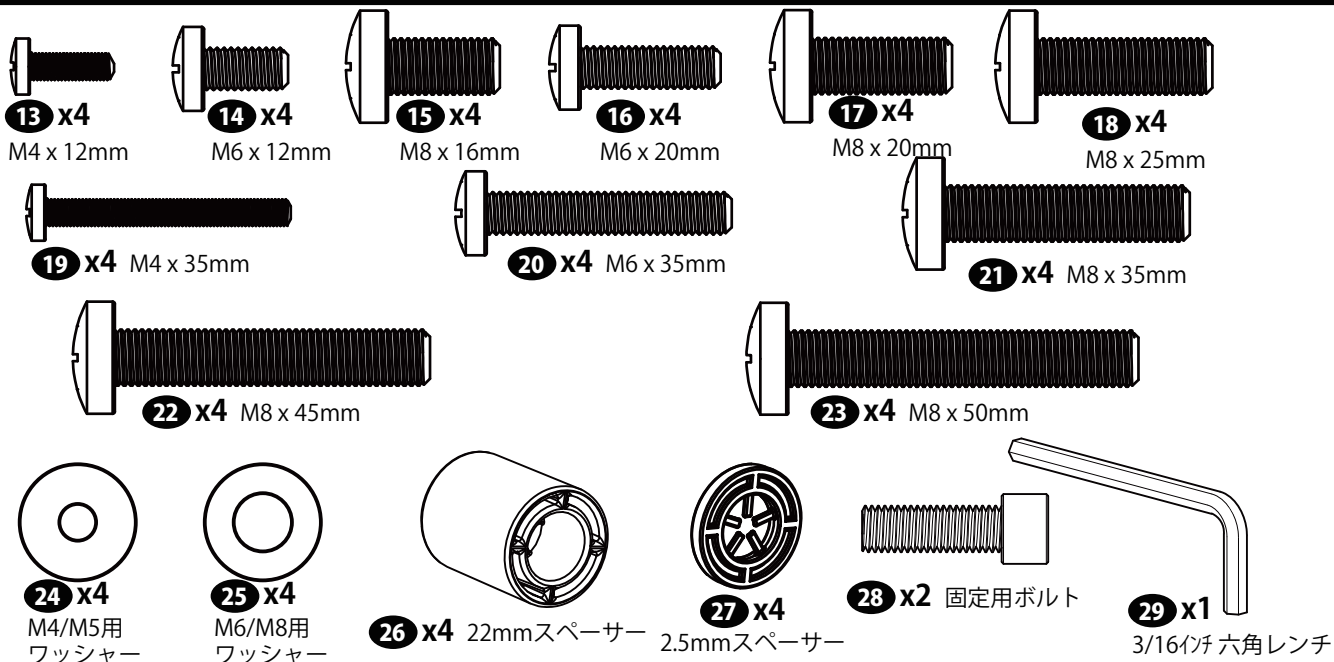


11 x6 ラグボルト用ワッシャー



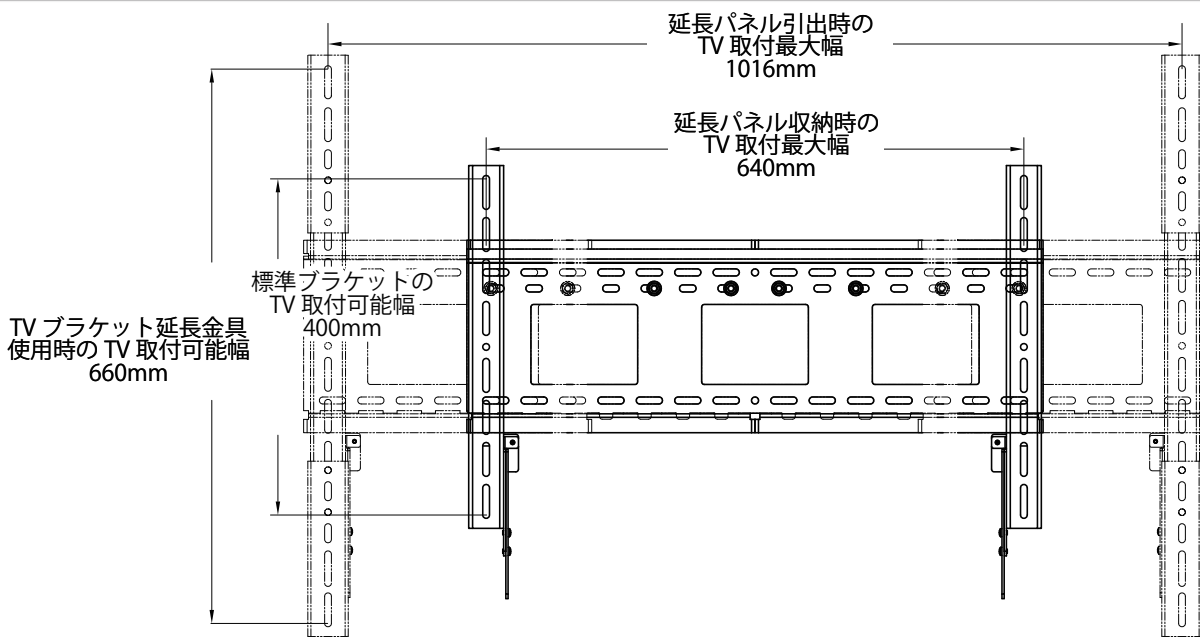
12 x6 コンクリートアンカー

部品表 2

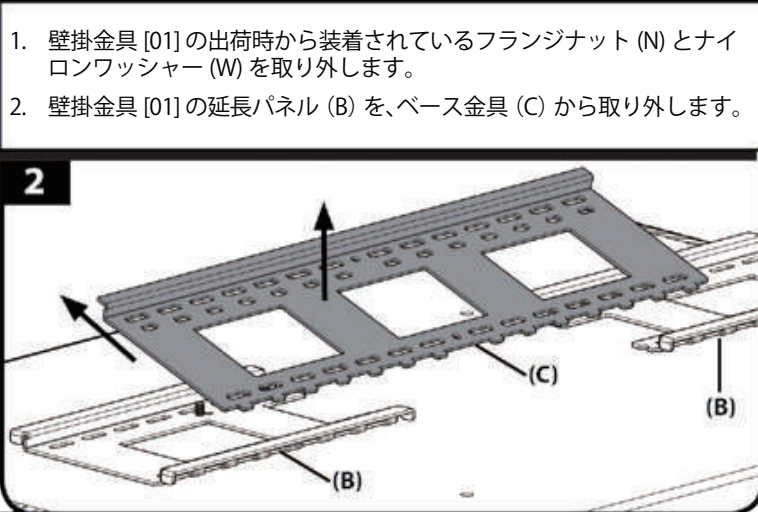
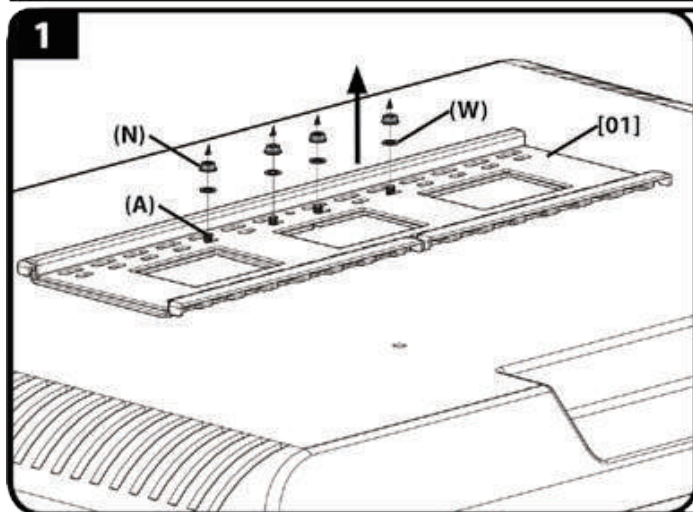


STEP 1 壁掛金具の幅調整

本製品は、壁掛金具の出荷状態で、テレビの壁掛金具取付穴の幅 640mm まで対応します。さらに、延長パネル（出荷時：壁掛金具本体に収納）を引き出すことにより、テレビの壁掛金具取付穴の最大幅 1016mm まで対応します。ご利用のテレビの取付穴の幅が 640mm 以下の場合には、壁掛金具の出荷状態で壁掛けできますので、この章を飛ばして STEP2 へお進みください。ご利用のテレビの取付穴の幅が 640mm を超える場合にはこの章の説明を読み調整を行ってください。

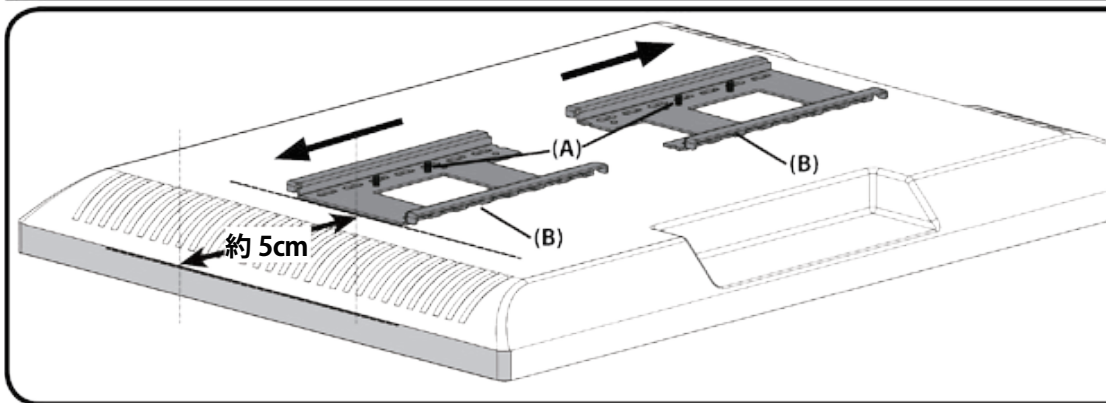


1-1 延長パネルの取外し



- 壁掛金具 [01] の出荷時から装着されているフランジナット (N) とナイロンワッシャー (W) を取り外します。
- 壁掛金具 [01] の延長パネル (B) を、ベース金具 (C) から取り外します。

1-2 延長パネルの調節

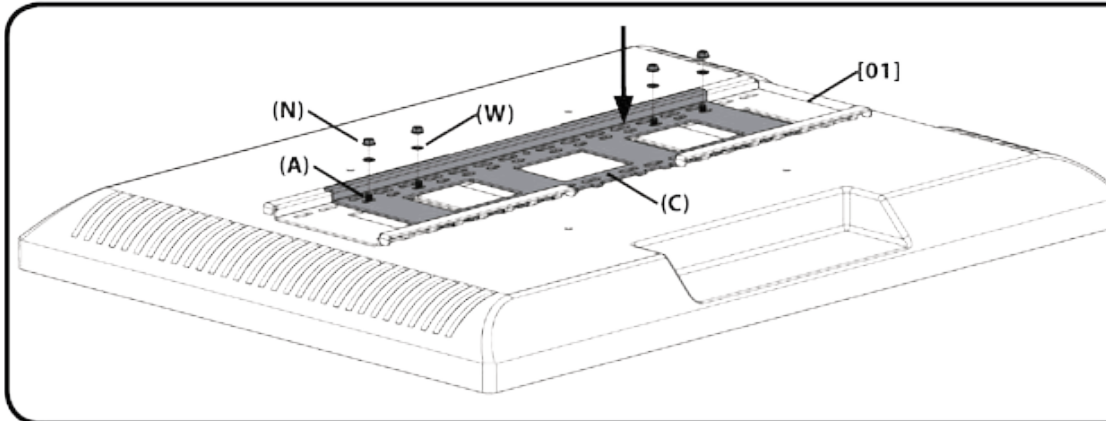


本製品を取付けようとするテレビ背面の壁掛け金具取付穴の上に均等に延長パネル (B) を並べます。

このとき、延長パネル (B) の端がテレビの端から 5cm 程度内側に入るように設置します。

※ テレビは採寸のために利用します。壁掛金具をテレビに取り付けるわけではありません。

1-3. ベース金具の装着



左右の延長パネル (B) の上に均等になるようにベース金具を下します。

1-1 で外したフランジナット (N) とナイロンワッシャー (W) を用いてしっかりと固定してください。

⚠ 注意：このとき、しっかりと固定できていないとテレビが脱落する危険がありますので、十分に注意して作業を行ってください。

STEP2A 木柱などに壁掛金具を壁面に取付ける

⚠ 警告： 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと、壁掛金具の総重量の 5 倍の重量を保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。
なお、本壁掛金具は、木柱の無い石膏ボード自体や鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

本製品は、55kg 以上のテレビにご利用になる場合には、強度確保のために必ず 3 本の柱にまたがるように取付けてください。

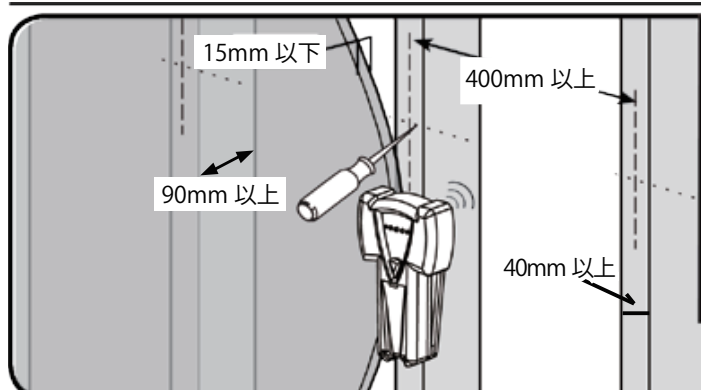
施工の条件：★ 壁面を覆う石膏ボードや壁面パネル・壁紙等の厚みは、15 mm 以下にしてください。

★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 40mm 奥行き 90mm 以上の柱が 2 本から 3 本必要です。(テレビの重量が 55kg 以上の場合は柱 3 本に固定するようにしてください。)

★ 柱と柱の間隔は、400mm 以上が必要です。

★ 柱の中心位置は、必ず確認してください。各家屋毎の柱の寸法は必ずしも規格のサイズではありません。

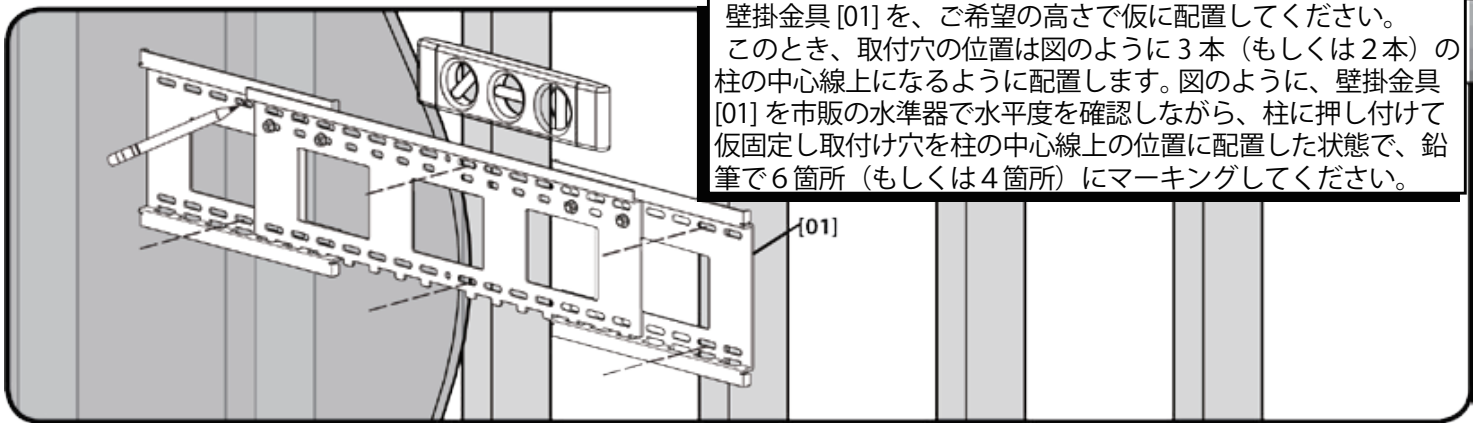
2A-1 柱の位置確認



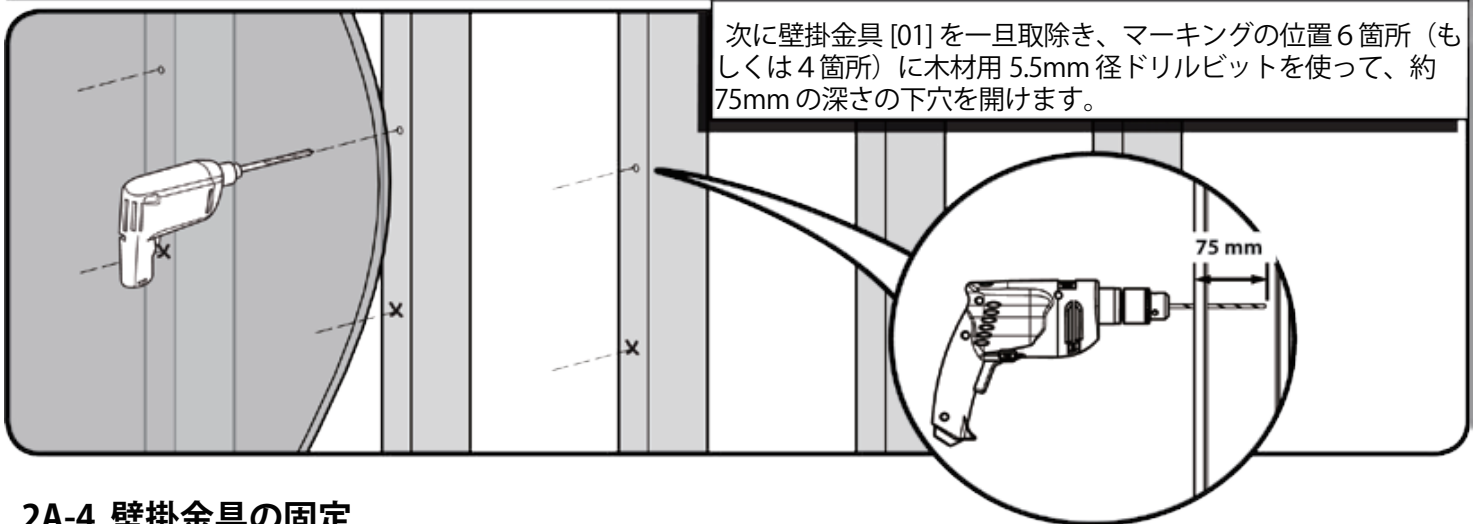
1. 下地センサーや、千枚通しや、細い釘などを使って、右図の様に柱の位置を確認します。
2. 下地センサーを左右に動かすと、柱の端を検知するので、マーキングします。
3. 二つのマーキング (両端) から柱の中心位置にマーキングを付けます。

注記：
下地センサー (木柱センサー) は壁の中にある下地材をセンサーで感知して知らせてくれるものです。
上記は下地センサーを用いた柱位置検出方法の一例です。詳細はご使用の下地センサーの取扱説明書に従ってください。

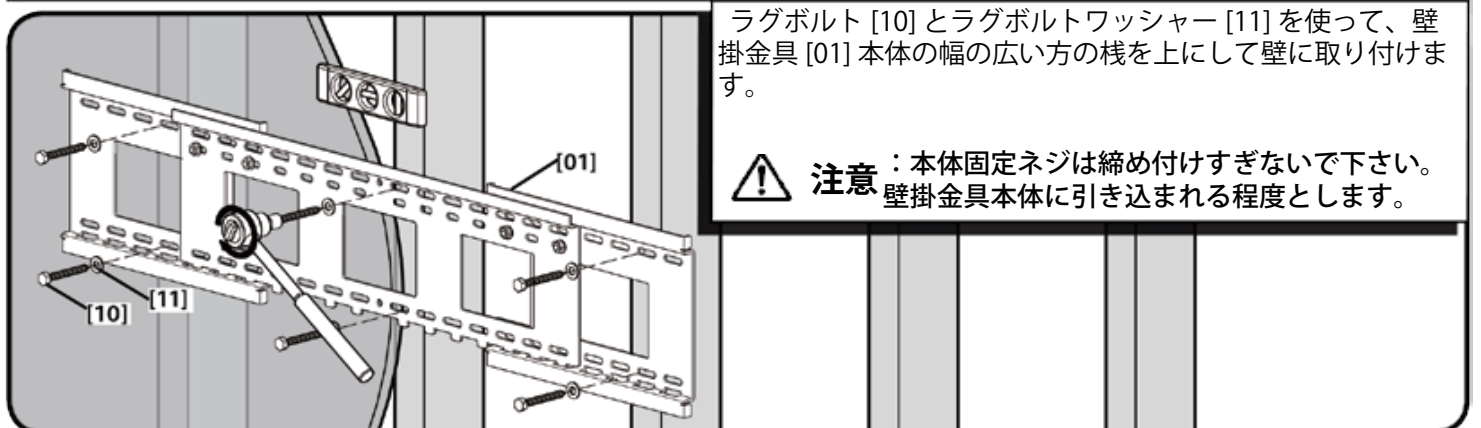
2A-2 下穴位置のマーキング



2A-3 下穴をあける



2A-4 壁掛金具の固定



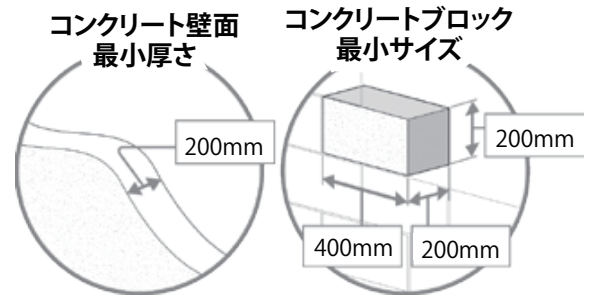
STEP2B コンクリート又はコンクリートブロック壁面に取付ける

警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「コンクリート又はコンクリートブロック壁面」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

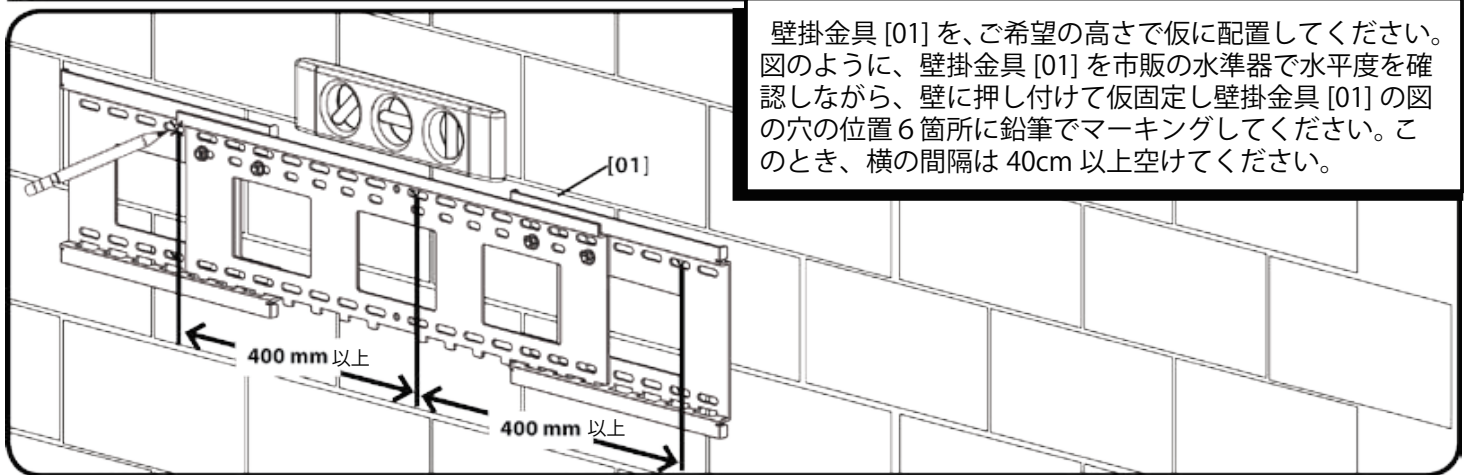
なお、本壁掛金具は、空洞のあるコンクリートブロックや下記の基準以下の厚みのコンクリート壁面、鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

本製品をコンクリート又はコンクリートブロック壁面でご利用になる場合には、強度確保のために必ず6カ所のボルトで取付けてください。

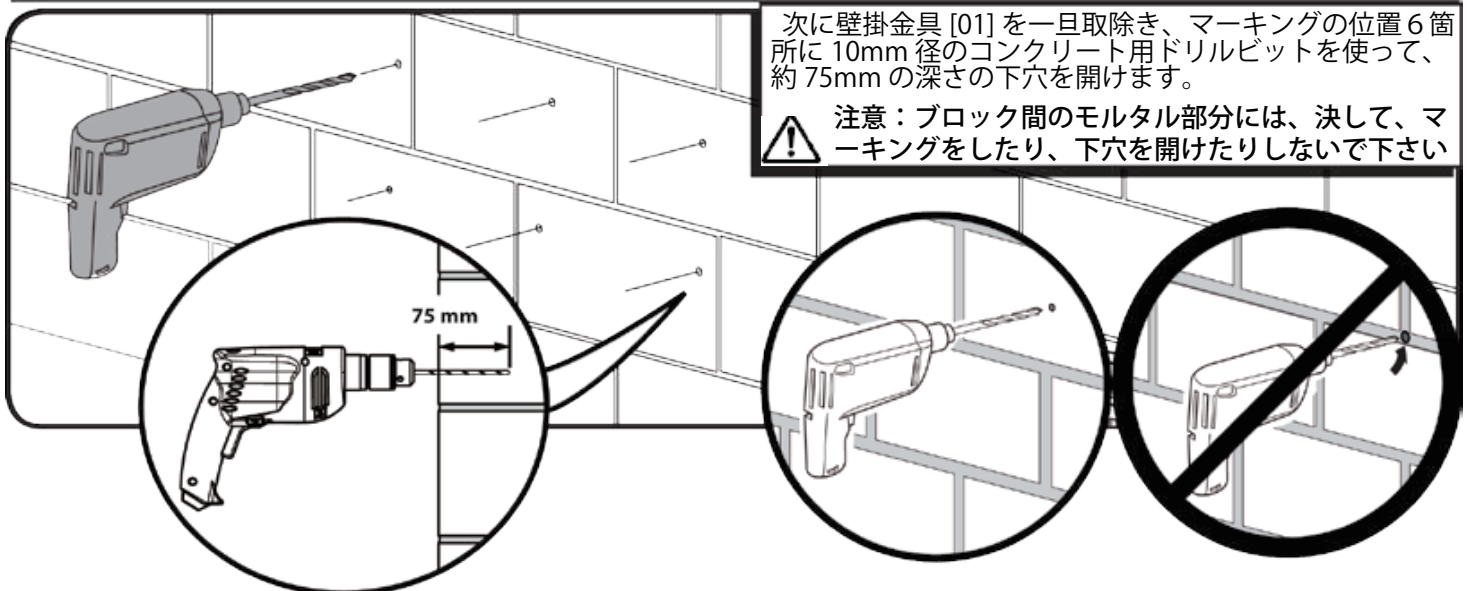
- 施工の条件:
- ★ 壁面を覆う石膏ボードや壁面パネル・壁紙等の厚みは、15mm以下にしてください。
 - ★ 壁掛金具[01]は、直接コンクリート又はコンクリートブロック表面に取り付けて下さい。
 - ★ コンクリート壁面の使用可能な最小の厚さは、200mm必要です。
 - ★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、200 X 200 X 400mm 必要です。
(空洞のあるものには使用できません。)
 - ★ 水平方向のネジ穴は、間隔は400mm以上で6カ所必要です。



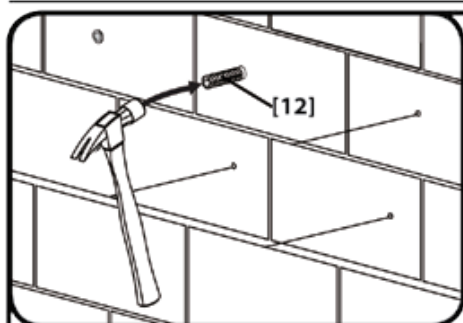
2B-1 下穴位置のマーキング



2B-2 下穴をあける



2B-3 壁掛金具の固定



1) 各々6箇所の穴にコンクリートアンカー [12] を挿入します。

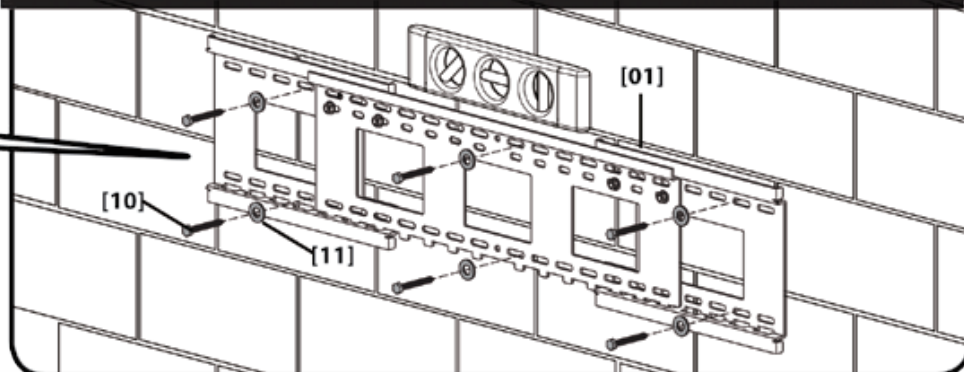
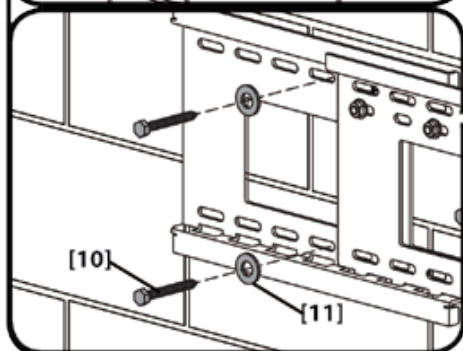


：コンクリートアンカー[12]は、コンクリート壁面と面一（つらいち）になるように最後まで打ち込んで下さい。

2) ラグボルト [10] とラグボルトワッシャー [11] を使って、壁掛金具 [01] 本体の幅の広い方の棧を上にして壁に取り付けます。

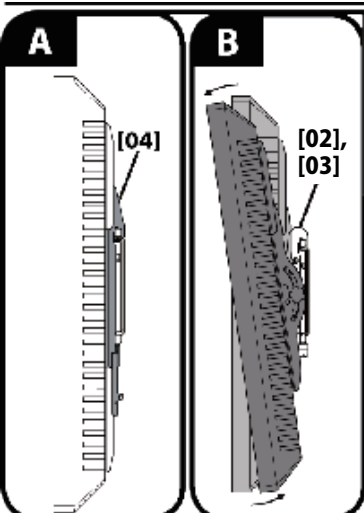


：本体固定ネジは締め付けすぎないで下さい。ラグボルトの締付強度は壁掛金具本体に引き込まれる程度とします。



STEP 3 テレビブラケットの選択と調整

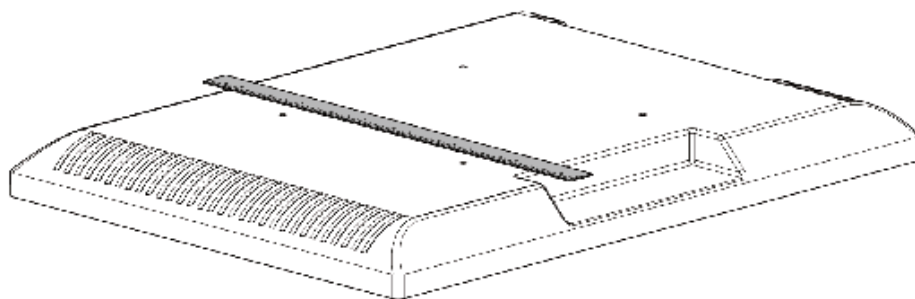
3-1 テレビブラケットの選択



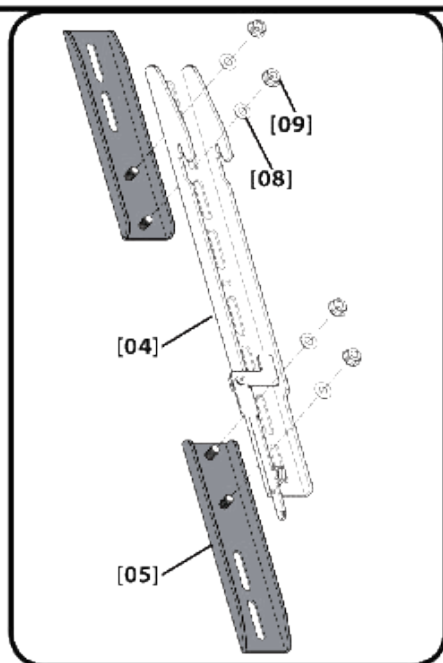
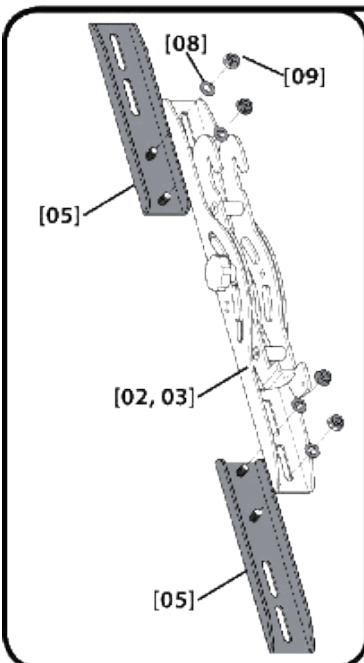
A. できるだけ薄く壁面に固定する場合には、薄型取付用 TV ブラケット [04] を使用します。
B. ティルト角度調節ができるように壁掛する場合には、ティルト用 TV ブラケット [02] [03] を使用します。

- ・テレビの壁掛金具取付穴の縦方向の上下のピッチが、400mm までの場合
- ・テレビの壁掛金具取付穴の縦方向の上下のピッチが、400mm 以上の場合

STEP4 へ
3-2 へ



3-2 TV ブラケット延長金具の取付 (TV 取付穴の上下のピッチを最大 660mm まで広げることができます。)



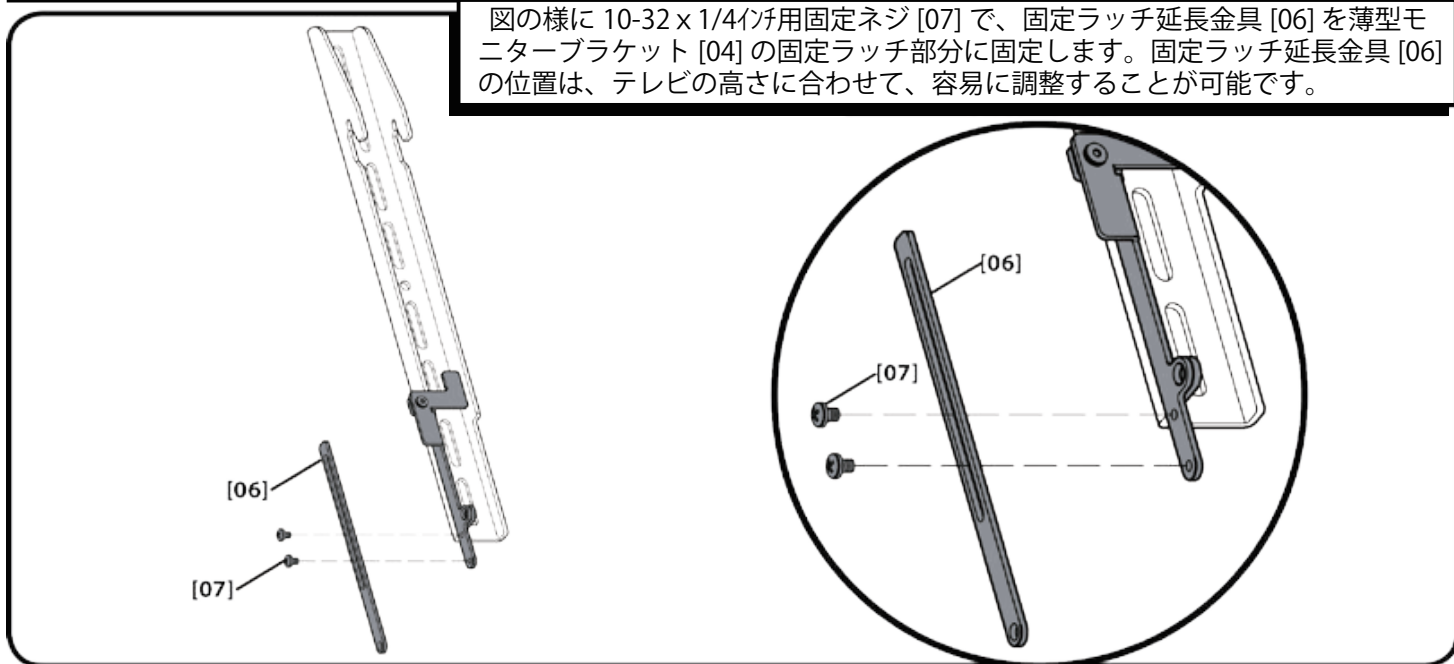
モニターブラケット延長金具 [05] の 2 本の柱状のネジ付き止め具の位置に、モニターブラケット [02][03] もしくは [04] の穴が一致する様に配置します。(合計 8カ所)

次に延長金具用ナイロンワッシャー [08] を柱状のネジ付き止め具に通し、延長金具用フランジナット [09] でしっかりと 2つの金具を固定します。

3-3 固定ラッチ延長金具の取付

(3-1でA.薄型取付用TVブラケットを選択の上、TVブラケット延長金具を使用する場合に行ってください。)

図の様に10-32 x 1/4インチ用固定ネジ [07] で、固定ラッチ延長金具 [06] を薄型モニターブラケット [04] の固定ラッチ部分に固定します。固定ラッチ延長金具 [06] の位置は、テレビの高さに合わせて、容易に調整することが可能です。



STEP 4 テレビブラケットの取付

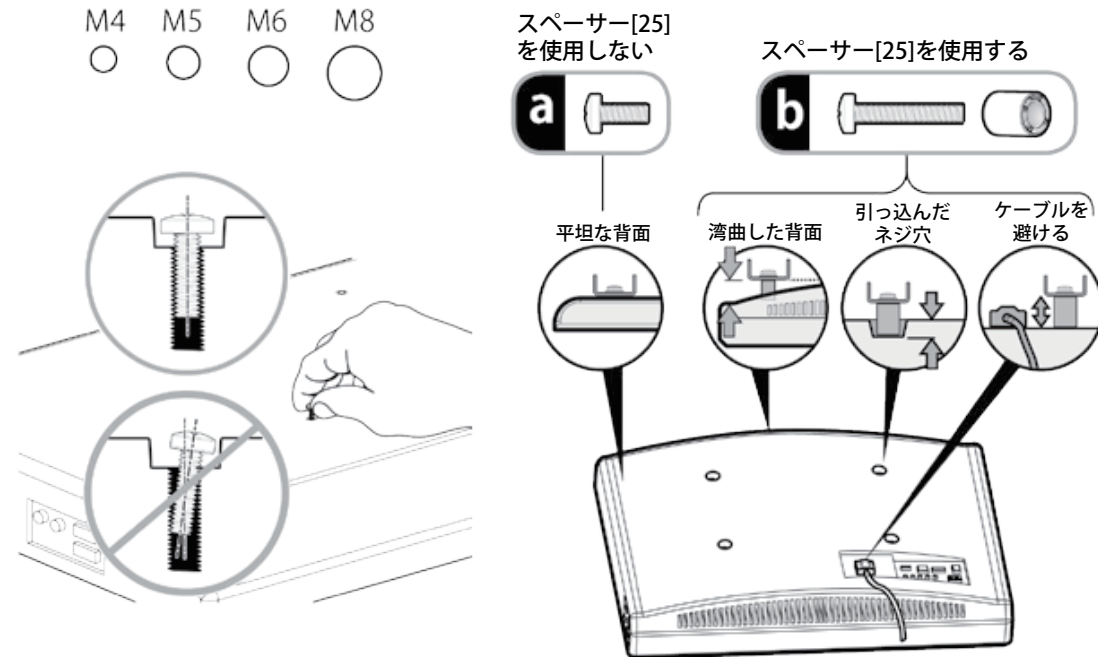
4-1 テレビ取付用ネジの口径と長さの選択

お使いのテレビのタイプによって、使用する部品が変わります。テレビの背面のネジ穴に手でネジをねじ込んで試し、正しいネジの直径 (M4、M5、M6、または M8) を選択します。



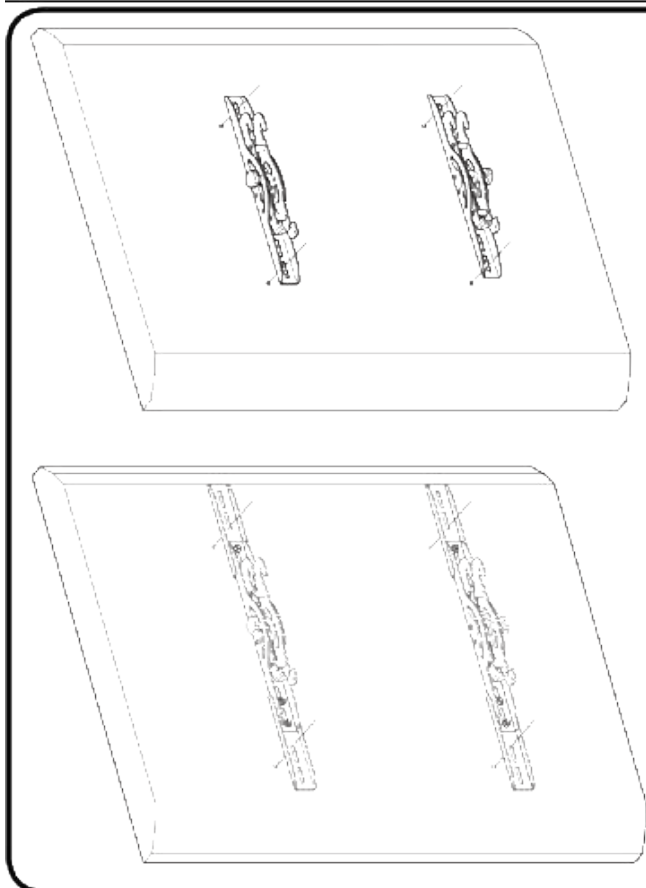
4-2 スペースが必要かどうかの確認

壁掛金具をご使用になるテレビの背面が平坦かどうか、壁面とテレビの間にケーブル類を配置するためのスペースが必要かどうかを確認します。



⚠️ 注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。同梱のネジ以外の長さのネジが必要な場合には、別途市販のネジを各自でご用意ください。

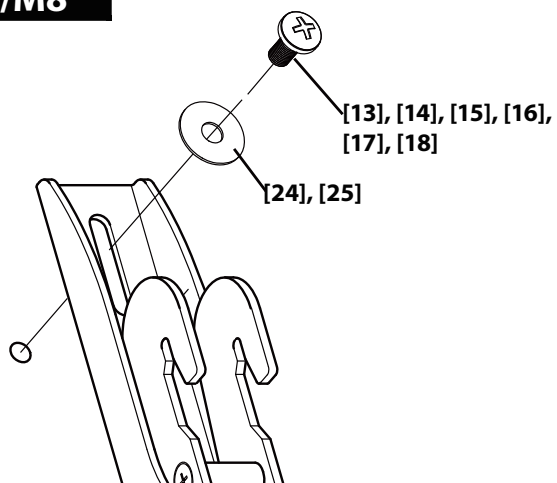
4-3 a テレビへのブラケットの取付 (スペーサーを用いない取付)



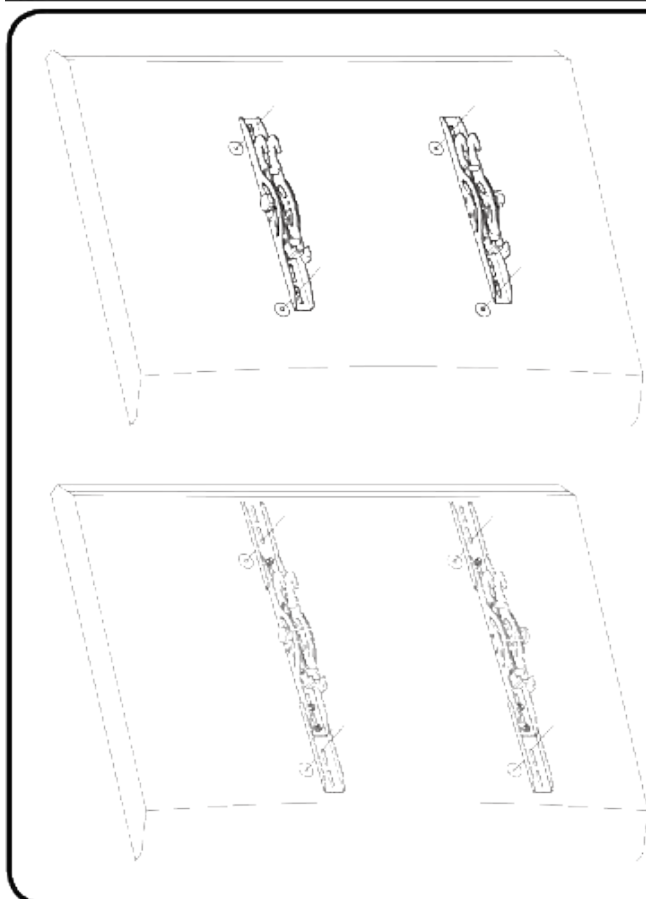
図のように前項で確認したネジ [13, 14, 15, 16, 17, 18] とワッシャー [24] もしくは [25] を用いて TV ブラケット [02] と [03] もしくは [04] をテレビの背面に装着します。

※ 図はティルト用 TV ブラケット [02] [03] で説明していますが、薄型取付用 TV ブラケット [04] でも同様です。

M4/M6/M8



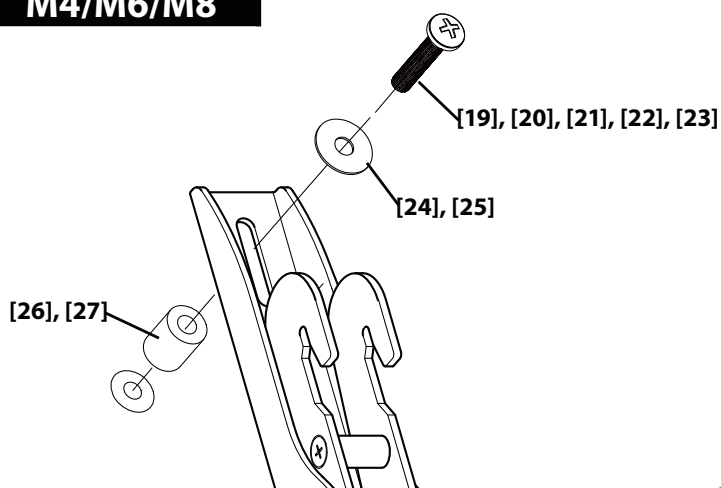
4-3 b テレビへのブラケットの取付 (スペーサーを使用した取付)




図のように前項で確認したネジ [19, 20, 21, 22, 23] とワッシャー [24] もしくは [25] とスペーサー [26] もしくは [27] を用いて TV ブラケット [02] と [03] もしくは [04] をテレビの背面に装着します。

※ 図はティルト用 TV ブラケット [02] [03] で説明していますが、薄型取付用 TV ブラケット [04] でも同様です。

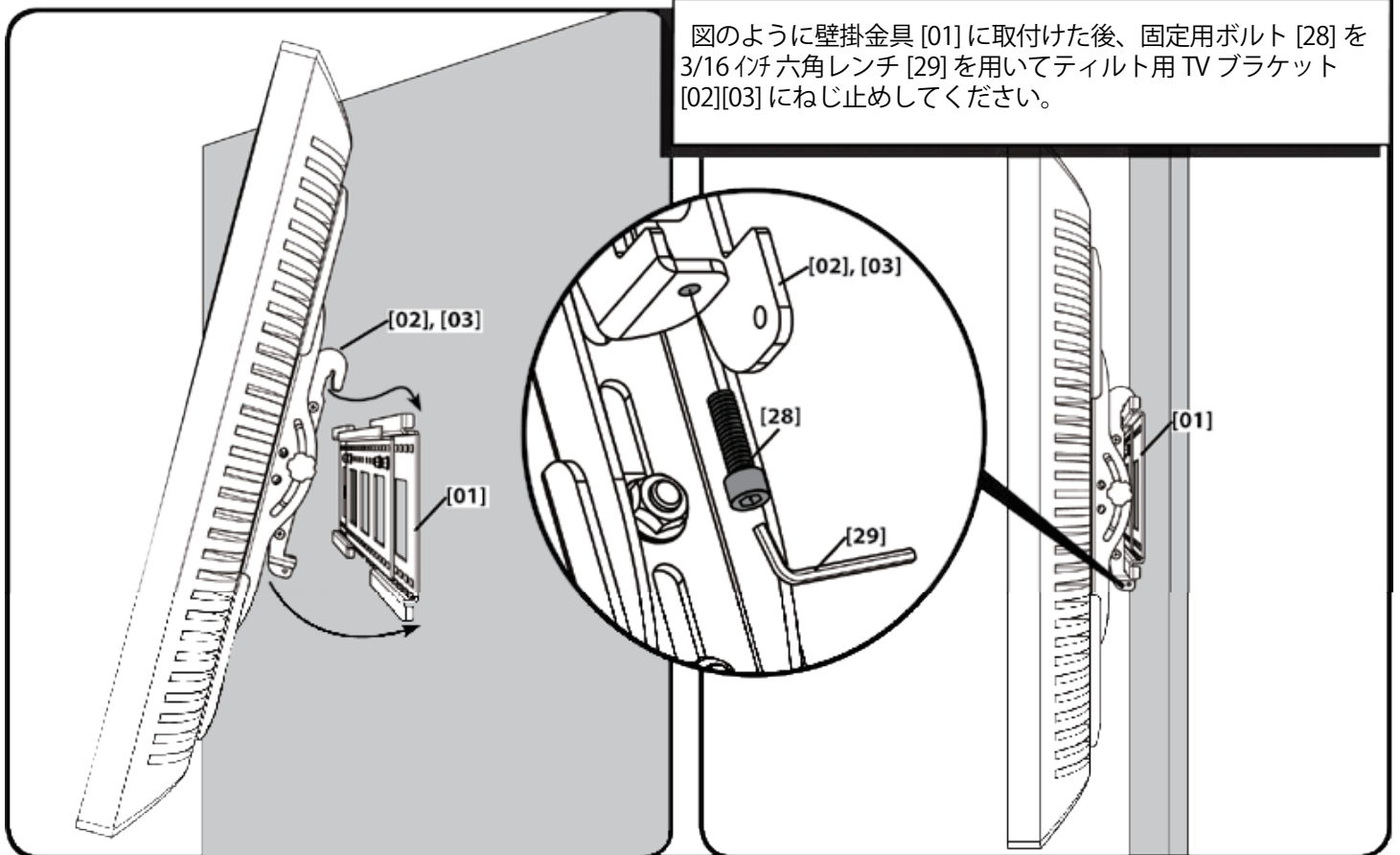
M4/M6/M8



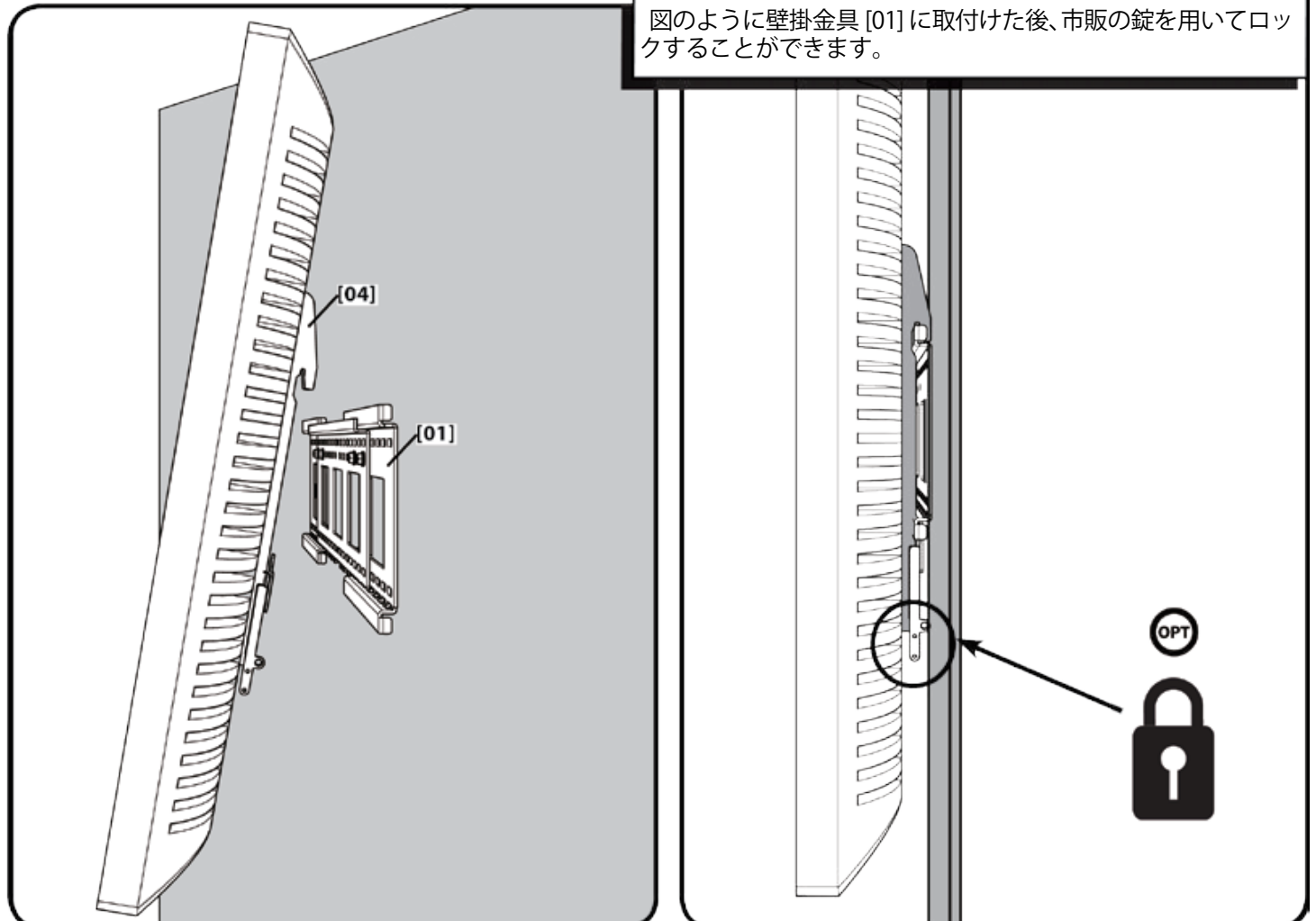
STEP 5 テレビを壁掛金具に取付ける

 **注意** 重量があります！この作業は二人以上で行って下さい。

5-1 ティルト用 TV ブラケットの場合



5-2 薄型取付用 TV ブラケットの場合



外觀図

単位：mm

